

## 歴認研活動記録

### 歴認研活動履歴（令和元年9月以降）

令和元年（2019）

10月4～6日 歴史認識問題研究会主催・日韓国際シンポジウム

- ・テーマ：韓国「徴用工」問題の真実
- ・日時：10月4日（金）18:30～20:30 福岡・中小企業センター301会議室  
：10月5日（土）14:00～17:00 大阪・高槻現代劇場305集会室  
：10月6日（日）14:00～17:00 東京・星稜会館
- ・登壇者：金 基 洙（弁護士・慰安婦像と戦時労働者像設置に反対する会共同代表）  
：西岡 力（本会会長）
- ・司 会：高橋史朗（本会副会長）

12月23日 1965年日韓請求権協定の尊重を求める日韓法律家共同声明・記者会見

- ・東京都内と韓国・ソウル市で、同時記者会見。
- ・同日、総理官邸内にて木原実内閣総理大臣補佐官に共同声明を手交。  
（日韓法律家共同声明の全文は、本誌81～82頁を参照）

### 定期研究会開催記録（第48回～第53回）

回	日時	講師(肩書)	テーマ
48	1.9.20	下川正晴 (元毎日新聞論説委員・ソウル市局長)	日本統治下の朝鮮シネマを見る —崔寅奎「授業料」を中心に
		西岡 力 (麗澤大学客員教授・本会会長)	最近の日韓関係について —反日民族主義批判に立ち上がった韓国知識人たち
49	1.10.18	小堀桂一郎（東京大学名誉教授）	尾高朝雄と国民主権論
		江崎道朗（評論家）	バルト3国の歴史認識
50	1.11.29	ジェイソン・モーガン (麗澤大学外国語学部准教授)	米国学会におけるWGIPの研究発表から —米国民への伝え方・説得方法・今後の展望を考える
		山下英次（大阪市立大学名誉教授）	GHQが戦後日本に仕掛けた巨大な洗脳の檻 —国際社会において東京裁判史観を根底から覆す主張を展開するシリーズ第3弾！
51	1.12.20	グレンコ・アンドリー（国際政治学者）	ウクライナにおける歴史認識問題
		高橋史朗（麗澤大学大学院特任教授）	ベアテ・シロタ・ゴードン文書研究報告
52	2.1.24	三浦小太郎（評論家）	秀吉はなぜバテレンを追放したか
		江崎道朗（評論家）	カンボジア調査報告—クメール・ルージュとアジアの共産主義
53	2.2.21	長谷亮介（歴史認識問題研究会研究員）	『特高月報』から戦時朝鮮人労働者の実態を考察する
		西岡力（麗澤大学客員教授・本会会長）	『反日種族主義』をどう読むか